

製品名: SNRPN ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18065**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	SNRPN
別名	SNRPN; HCERN3; SMN; Small nuclear ribonucleoprotein-associated protein N; snRNP-N; Sm protein D; Sm-D; Sm protein N; Sm-N; SmN; Tissue-specific-splicing protein
遺伝子 ID	6638.0
SwissProt ID	P63162
免疫原	抗血清は、ヒト SNRPN の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

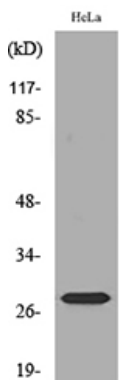
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、核内小リボ核タンパク質複合体の1つのポリペプチドであり、snRNP SMB/SMNファミリーに属する。このタンパク質は pre-mRNA プロセッシングにおいて役割を果たし、組織特異的な選択的スプライシングに関与していると考えられる。個々の snRNP は RNA-RNA 塩基対合を介して特定の核酸配列を認識すると考えられているが、このファミリーメンバーの具体的な役割は不明である。このタンパク質は、SNRPN 上流リーディングフレーム (SNURF) として同定されるタンパク質もコードするバイストロニック転写産物から生じる。複数の転写開始部位が同定されており、5'非翻訳領域では広範な選択的スプライシングが起こる。追加のスプライスバリエントが報告されているが、完全な転写産物の配列は決定されていない。この遺伝子の5' UTRは、インプリンティングセンターとして同定されている。選択的スプライシング疾患: 自己免疫疾患である全身性エリテマトーデス (SLE) の患者は、個々の snRNP ポリペプチドの一部に対する自己抗体を有する。最も一般的な自己抗原は Sm と呼ばれます。N は Sm エピトープを有します。機能:組織特異的な代替 RNA プロセッシング イベントに関与している可能性があります。その他:2つのタンパク質 SNRPN および SNURF をコードする2つのシストロン性転写産物上にコードされています。その他:2つのタンパク質 SNRPN および SNURF をコードする2つのシストロン性転写産物上にコードされています。主要な 1.6 kb の2シストロン性 SNURF-SNRPN 転写産物に加えて、SNURF のみの転写産物も検出されます。類似性:snRNP SmB/SmN ファミリーに属します。類似性:SNURF ファミリーに属します。サブユニット:TDRD3 と相互作用します。組織特異性:脳およびリンパ芽球で発現します。組織特異性:心臓、骨格筋、リンパ芽球で発現します (タンパク質レベル)。脳、脾臓、心臓、肝臓、肺、腎臓、骨格筋で発現します。

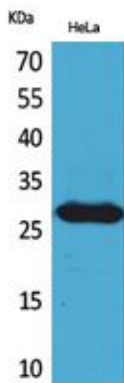
研究分野

翻訳リボソーム; エピジェネティクスと核シグナル伝達; DNA / RNA; RNA プロセッシング

画像データ



SNRPN 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



SNRPN ポリクローナル抗体を使用した HeLa 細胞のウェスタン ブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。

